0日本国特許庁

①特许出頭公開

公開特許公報

昭53-74795

Mint. Cl.3 A 61 F 13/20

成别記号

❸日本分類 94 F 52.

厅内登理委号 6537--35

砂公開 昭和53年(1978)7月3日

発明の数 1 苦蛮顽求 未济求

(全 3 頁)

⊗タンポンアプリケータ

2014

類 昭52-148937

砂田

願 昭52(1977)12月13日

役先権主張 ◎1976年12月14日◎イギリス国

(GB) \$\D\$52093/76

②発 明 者 ブライアン・ジェームス・ブル

イギリス国ペッドフォード・オ

. - クレイ・レイネスドライブ18 ジョン・アルパン・ハワード

イギリス国ベツドフオード・ブ

ル30

リチヤード・マロウズ

イギリス国ノーザンプトンシャ ー・ラツシユデン・ウエストフ

イールド・プレース18

の出 原 人 ユニリーバー・ナームローゼ・

ベンノートシャープ

オラング国ロツテルダム・バー

ジミースターズ・ヤコブブレー

ソ1

OH 理 人 并理士 茂村皓

入れ子にたる智は内有部分とを何えるメンポンプ プリケータにかいて、幼児九気形分が、異質する リブがに担囚事を研定すると共に兵策の長に乱な の長手方向の長入せ可能にする血く前に内側部分 **ド羽して支手万向内部ナヤンネルを形成する支手** 刀内リブをガナるととを弁束とするアプリケート。 || 世界の東京の大学、大田県東大のディブを有し、 前に智な円両部分が、対にリナの方方の領域に指 うその内閣であるにべんかにです。これにより、 双尺1つの質状態分が、一年代役内でれるのも役 紅されるととも特殊とする特別状の範囲メ / 頂 応収のアナリケーメ。

前配骨状部分型。水分丝性屏蔽初积水与作与 れ、放配リブがしわ付けされていることを怀衷と する外外技术の可屈無!以北大は何之攻紀取のブ

非见赏欢强分泌,水分散色微症有异众与作与 前尺1プが契点されていることを外立とする **発育技术の兵団のノ京さた社がコルビ転のアデリ**

, 3. 段明 0 好 35 立 改明

本界特は、好文心(は水分数性有有、外人はほ **載で作られた月辰用メンポンを装滑ナメンボン芸 ガス(アナリケーノ)に属する。**

ナンオンファリケータは耳如でもり、これでは、 九叔智忒就分と,乃何智忒而分之が沒少依合在形 **ばして一年に入れ子犬にカつている。ノンオンは、** た何智は部分内に収留され、円何智な部分は、/ ンを打出アプランでとして作用する。

在未の有法では、1つの元分別の行り取合は気 は、2つの四分の正確な関係を維持するには先分 **ド弦風でせいた変形分の打刃し変形によるか、さ** たは入れ子犬の内刀の位置では万敗刀向の抵出し アがアナリケートの内面への死体の治温に対する シームを形式するため再気するのに削損を坐じる

-433-

と共に共治 ナる のが超其 左門 周刀 内へ 取びる 婦 出 し取により 利力されていた。

本税制力、同てしくは、水分数可利からかられ、 ではが利用分と、は外性的分内に消り減分で入れ 子になる質な内質部分とを無足、解配れ何部分が、 到望するりずMに把握別を規定すると共に反乗の なにないの長歩方向の及入を可能にする如く前に 内は知分に対して米チカ内内部でナンネルを形成 する内方さればれ方へ向いたを千方向りずを有す るメンボンアプリケーノを提供する。

この初度では、2つの初分は、対常に世に入れ 子式に立り、即ち、2つの部分のかなりの面段に われり年力的な母別区分が形成され、とれば、入 カ子ズボ分Mの全気。ッチを防止して耳魚の際に 2つの形分別に見たが成れるのを肝害する。 従っ て、アプリケーノが入れ子式に用無位度にあるな 即での水元便はへの耳葉の際、足体は、馬束を助 長する和くアプリケーノの区での部分に是温に対 更し行る。

才元, 关于万円リプロ、促出力把提供七形成丁

が研究31-7275527 ると共に、他品に対する特別を与える知点を消し ている。

丹をしくは、如足れ無限分が、知知質量にのネリブを消し、対応でな円無明分が、如足リブの内
万の質量に沿りその内なでれガドペル形になり、
とれにより、如定1つのでな 風分が、一年に収力
まれるむを保定される。

この物品に対して及り区判な可料は、 別述の即 (厚単でもるが、 はリビュール アルコール、 酸化 メリュナレンのほ立水分 社位別 指列戸を使用して りよい。 七の短の機関的料は、 入力子式の 所収号 まの分割 医が真果な異性でないとまに使用可能で もる。

共予の向りでを有する部分は、外えば、即取が 使用されるとさにひだわけまたはスエージング後 だによるか、または何間利用が使用されるときに 別志または反形によってお男に判決される。

本見別の更致的に関し前層図図を参加して下記 に見引する。

メノ、男」、用了回は、入れ子文献会の内容部

分とでアプリケーメを形成する智は外側部分の折 获取至大《京中。其《图は,入九子文长延び元位... 異で内容別分1尺名に試合する無ノ、無は思せた はみろのに示す知され知能分しを示す。 メンポン 、31を未りとは、とのアアリケーノのコゴの ^我分別に位置している。外典部分は、長子刀向す プラモボしている(リブは、メノBではふつおり、 メンタでは4つあり、メノジではリナにその原玉 て未以がりにもつている)。おり助をお及すると、 とれ等の長子万向1プは、内保部分2のほと共ん 及手方河原間《交形皮广》。 己九等の各限間は、 水抗使为土大以英品使用使四个历史十名以比了广 リケーナ O 円 B に向い入れ子式の配分M を設けが **はれるのそりをし、とれにより、出ての耳点お料** が選かに役所する四(急速に向れるのも可能にす る。足に、これ井の町分内に空気が視妊されたい ことは、そのが力を促出し、大死化所にかけるフェ ランニを助表する。 外無取分1位、 ひだ付けまた はスエージングは大は月出収形の設作により及手 万円リプさいし張田部3四形成された魚部を有し

ている。先つて、3寸九は40年在刀内に位置するショーは、部分10万部へ一時的に并入された 通当な光次の内質和分かいしコアに対して長手刀両リア8所の単葉を弁圧する四く円刃へが動する。

産業すれた知路は、長年万円のほ解ないしかで ンネルイを有すると共に、河口な把資が「を形成 する。更に、これ等の把領部「の内部には、かな 身を収域にわたり内有部分」の外部には、かな ま合か形成される。これは、天抵の公知のマンリ ケーノよりしたい浸触的効を形成し、その始果、 一周短短方路波が行られる。また、長年万円リア かわるととは、正神な労力的ではな像合を研究す ものに役立つが、それは、任業の資かなすな が長年万円リアによる関うではままれるからであ が長年万円リアによる関うではままれるからであ

単4 四千戸黒丁ると、内和部分 2 の内壁は、内 利和分が使用する前に内容配分 1 からはけ出ない ことを保延するため、外無配分内でパカへペルル の口を形成しているととが定められる。また、外 名部分 1 の反対に毎回は、メンボンミが確実に促

-434-

形でれるのを見正すると共に并入本がを改善する ために、ほかに内方へは無している(似い無難を オイな女気のメンボンに対比される)。

附加的な外質は、内無助力Iへ無重に導入し得る。これは、との部分Iの内外を係かにべか形に するか、Iたは内力への凹所を形成するととでも る。これは、ノンボンと挿入むとの間に生じるは な知何なるほうの似れをも防止する。

国」異角的は、異な、異々的に示されている。 この場合には、れた部分1性、展り的に示すくの と必ず的には内容であるが係かにない可以の円方 へのしわ付けを有するしわ付けされた体をを有し、 倒以3のれ自動分の異型が、れ方へべん形になつ ている。でつて、記載以7は、一度凹んだ比なを 为し、即ち、物の形はに一層でに適合する。この 対対の数の作果は、内を紹介2が月形が以てが成 する四く円限になかにしわ付けされ(男り 日本駅) 入れ子式に近近ではては立体を一層研究に位置 めめてることにより、よつの弱分の異立て近に わけけを単一般作工実施し持ち間なメンプン リケークの目的はそれる上でも及立つことである。 とれにレいても、おりの見れば、このチをドミコ てはおされる。

上述の実施外では、リブは、外側的分1の水方へだびている。本限等の果立る形式では、リブは 内のへ足び、この場合には、これ等のリブは、内 世形分の実対面を形成し、毎リブ間の気景は、新 年の気易を発立する。

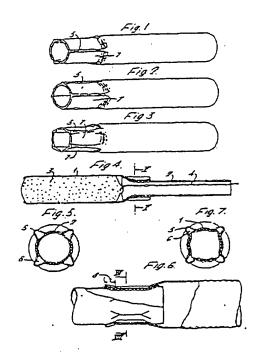
4. 四百0 海半世段明

F/四はよつの表示の向りででおけるれてでは 配分の所収的、メニをはずつの表子の向りでを布 するれ気質な部分の所収的、メニ面はずつの表子 の内りでと別のほが配とたずするれのでは現分の な、メリのは完全に固立てられたメンボンとアデ リケーノとの反所面的、メニ面は同上のVーVの に行うまた所のも、メルのは気をは られたアデリケーノの母分所面的、メリをは向上

1.2一一九年,內保部分。

」→一長手刀向ナヤンネル。 フーー把集取。

代理人 改 村 ^医



-435--